

子どものけいれんについて

川口市立医療センター
小児科 鈴木 智典



子どもは神経系の発達が未熟なため、けいれんを起こしやすく、その原因はさまざまです。原因として最も多いのは、感冒などの発熱に伴う熱性けいれんです。多くは1歳前後で発症し、短い発作であれば後遺症を残すことはまずありません。しかし、同じ発熱時でも、発作時間が長い場合や意識状態が悪い場合には、脳炎や髄膜炎の疑いがあり注意が必要です。また、胃腸炎に合併して短いけいれんを群発することがあり、これを胃腸炎関連けいれんと呼びます。無熱時のけいれんには、てんかん、血管迷走神経反射、不整脈、電解質異常など、さまざまな原因が考えられます。

子どもがけいれんを起こした際、驚いて何度も名前を呼んだり、揺すって刺激したりする親御さんを見かけますが、刺激でけいれんが止まることはありません。最も大事なことは呼吸を保つことです。仰向きでは吐物で気道が塞がれる恐れがありますので、必ず横向きに寝かせて気道を確保し、すぐに止まる様子がなければ救急車を呼んでください。また、すぐに止まった場合でも、治療を急ぐケースがありますので、早めに病院を受診してください。その際、発作の様子をよく観察し、余裕があれば動画に記録していただくと、けいれんの原因を調べる上で大変役に立ちます。

子どもがけいれんを起こした際には、以上のことに注意して慌てず適切に対応し、速やかに病院へ引き継いでください。

今日から禁煙、してみませんか？

「たばこを吸うことはストレス解消になる」、「忙しい仕事の息抜きに必要」、「禁煙したほうがかえって体に悪い」なんて思ったことはありませんか？ 喫煙は自身の健康を害するだけでなく、大切な家族や周囲の人の健康にも影響を及ぼします。

知ってる？ たばこに関する豆知識

- **たばこにはデメリットがたくさん！**
健康面では、がん、糖尿病、メタボ、認知症など…本人だけでなく受動喫煙により家族・ペットも危険です。また、肌が黒ずむ、しわが増える、乾燥肌など美容にも良くありません。さらに金銭面でも、1日1箱(560円換算)×1年間=20万4400円と、とてもお金がかかります。病気になることさらに医療費が…!!
- **紙巻も加熱式もたばこには違いがありません。**
さまざまな毒性成分が含まれ、ニコチンも同程度含まれています。煙や蒸気が目に見えなくても、臭いが少なくても、受動喫煙は起こっています。
- **換気扇の下で吸っていても×！**
たばこの煙は、換気扇ですべて排出されることはなく、室内に拡散します。また、窓を閉めてベランダで吸ったとしても、窓のすき間や服に付いて有害物質が室内に入り込みます。たばこを吸っている家庭では、吸わない家庭に比べて受動喫煙の危険が3倍以上になります。
- **サードハンド・スモッキングとは…**
喫煙していた室内に残る臭いで受動喫煙が起こることを言います。壁やカーテン、床、家具、エアコンの回路などに付着して、たばこの煙の凝縮物が室内空気に再浮揚するためです。喫煙者の服や髪の毛、吐いた息からも発散します。

長年たばこを吸っていても、禁煙するのに遅すぎることはありません。ぜひこの機会に禁煙してみませんか？

▶禁煙外来を実施している市内医療機関の一覧を市ホームページで紹介しています。

〒048-256-1120 FAX048-256-2023

イベントスケジュール

4月
8日(土)、9日(日)
第95回春の安行花植木まつり
場 川口緑化センターほか
→19ページ

5/14日(日)
端午の節供一五月人形の展示公開一
場 旧田中家住宅
→21ページ

5月
5日(祝)
第35回みどりの地球君in安行
場 安行スポーツセンター グラウンド
→19ページ

川口市 広報課 職員による
ちょっとくだけた？ 市政情報番組
85.6 MHz
City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日：平日の10分間…10:00、13:50、17:50、20:00

LINE ID @kawaguchi_city
川口市 公式アカウント
※きり川口情報メールと同じ内容の受信も可能

暮らしに役立つ ぜひご利用ください
きり川口情報メール



平等な世の中を目指して

藤波 美智子さん



民主主義の根幹をなす選挙。この4月は統一地方選挙のため、街は多くの選挙運動を行う候補者と彼らが人々に訴え掛ける自由な主義主張でにぎわう。

投票率の低迷にあえぐ自治体も少なくない中、選挙を裏側から支える団体『明るい選挙推進協議会』。藤波さんは、昭和53年の創設から委員に就任し、平成20年からは会長として、永きにわたり本市の選挙啓発活動を支えてきた。

小学生の時、第二次世界大戦を経験した。終戦直後の秋の新学期、「これからは自由と平等の世の中になる。民主主義の時代だ」と先生の話はこれまでと180度変わった。しかし、実際には担任の先生は成績の良い子しか面倒を見ず、ひいきする担任を校長に訴えるも、担任からは「生意気だ」

と叱られ、理不尽な大人に不信感を抱いた。

時は流れ、高校の文化祭で「原爆を許すまじ」を歌いたいと企画したところ、先生から「政治的な歌は控えろ」と言われ、夜まで教室にこもりストライキのまねごとをしたと言った。「何でも言える平等な世の中にした」という思いが強くなった。

昭和53年、40歳の時、民生委員をしていただくことがきっかけで、選挙管理委員会から『明るい選挙推進協議会』の創設メンバーにと声がかかった。「平等な世の中の実現のため、迷うことなく快諾しました」

初代メンバーは18人。「政治の主役は私たち。投票で自分の声を届けなければならぬ」という思いをもってメンバーとともに選挙の啓発に力を注ぐ。

平成18年に期日前投票所の投票立会人を協議会で引き受けることになり、協議会のメンバーが拡充された。多くの人数で啓発活動を行う充実感を感じる一方、下がり続ける投票率に毎々愁いを感じている。

平成20年から務めた会長職を3月に退いた。今年85歳を迎えるが「足が動く限りは生涯現役」と気を吐き、引き続き協議会の会員として啓発活動に励む。戦前戦後と自由に意を示すこともかなわぬ不平等さを味わった彼女だからこそ、大切に思う投票という意思表示。これまでの活動が結果し、今回の統一地方選挙では投票所がにぎやかになることを願う。(貴)